調査研究資料②　教科　社会　（種目　歴史）（発行者　東書）

調査項目	着眼点	調査結果	特記事項
1	（1）	①小学校で学習した人物や文化財などのイラストが大きく掲載され、歴史学習への興味・関心を高められる。「地歴公の３分野のマーク」「他教科との関連のマーク」があり、他分野・他教科とのつながりをより実感できるようになっている。	◎
		②各章の始めの年表には、小学校で学習した内容があり、既習事項を想起できるように工夫している。そして、各章末には、その年表に中学校で学習した内容が追記されているので、学習の深まりを比較して確認できる構成になっている。	
	（2）	①「チェック＆トライ」に取り組むことで、基礎的・基本的な知識の定着を図ることができるようになっている。「スキル・アップ」には、絵巻物の読み取り方や歴史新聞のまとめ方などが掲載され、基礎的・基本的な技能を身に付ける上で大変有効である。	◎
		②１単位時間で習得すべき重要語句が太字で記載されるとともに、側注には丁寧な解説や関係する資料が多様にあったり、情報の収集・活用・整理の仕方が説明されたりしており、生徒が自分の学習状況に応じて追究する上で大変有効である。	
	（3）	①単元全体を貫く「探究課題」と、節ごとの課題である「探究ステップ」、１単位時間の学習のめあてである「学習課題」の３段階で問いの構造化がされており、単元を通した課題解決的な学習を進めることができるとともに、主体的・対話的で深い学びを促している。	◎
		②見開き１単位時間が課題把握→課題追究→課題解決の流れで、大変分かりやすく構成されている。「みんなでチャレンジ」では、「戦乱の世を終わらせたものは何だろう」「日本来航の背景を考えよう」など、小集団での対話活動が効果的に取り入れられている。	
	（4）	①「探究課題」に対する「まとめの活動」では、歴史的な見方・考え方を活用して、時代の特色を考察できるようになっている。領土問題の歴史的背景とその領有の経緯が丁寧に取り上げられ、問題を正しく理解し、解決に向けての意識を高めている。	◎
		②思考ツールの活用によって、生徒が自らの思考を整理したり、可視化したりして学びの変容をより実感できる。「歴史のまとめ」では、持続可能な社会の実現のために解決すべき課題を取り上げ、その解決に向けた構想をすることで、社会参画の基礎を養うことができる。	
2	（1）	①各見開きの最初に、魅力的な「導入資料」が大きく掲載されており、生徒の興味・関心や疑問をもとに、課題化につなげることができる。「人物コラム」が随所に設けられ、人物に目を向けた歴史学習を行えるとともに、我が国の歴史に誇りと愛情を持てるようになっている。	◎
	（2）	①第１章では、歴史的な見方・考え方として、「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」が明示されている。「歴史的な見方・考え方」を働かせる場面が意図的につくられているので、主体的・対話的で深い学びが実現できるようになっている。	◎
		②「みんなでチャレンジ」「導入の活動」「まとめの活動」などでは、活用すべき歴史的な見方・考え方が掲載され、思考の流れに沿った学習活動を展開することができる工夫がなされている。	
	（3）	①章末には、「基礎・基本のまとめ」として、教科書の重要語句の意味の確認、年表や図表、地図を使った問題があり、家庭学習において基礎的・基本的な知識及び技能の定着を確認する上で、有効である。	○
		②重要語句の意味を、掲載ページに戻って確認することができたり、解決の糸口を伝える「吹き出し付きのイラスト」の掲載があったりして、家庭学習の支援に役立っている。	
3	（1）	①近代以降の人物に出身県を示し、郷土の偉人を確認できるようになっている。岐阜県出身の杉原千畝の掲載もある。身近な地域の歴史を調べる学習の事例が各時代に設けられ、郷土の歴史に目を向け、郷土を愛する心を育てることができるようになっている。	○
4	（1）	①インターネットを活用した学習が効果的な部分には「Dマーク」や「二次元コード」を付して、専用のウェブページなどから、学習をサポートする情報が得られる。地理や公民の関連性を意識して学習に取り組むことができるが工夫されている。	○
5	（1）	①「資料から発見」には、絵画資料が見開きで取り上げられ、我が国の伝統と文化に誇りを持てるようになっている。写真や文字が見やすく印象的な紙面構成になっている。また、使用している文字の大きさや書体は適切で、読みやすいものになっている。	○
	（2）	①資料には見開き単位で通し番号を付け、対応する本文の上に当該の図番号を付すなど、学習の理解を促すことができる。既習内容に関連のあるページが青字で書かれているので、見やすい。	

調査研究資料②　教科　社会　（種目　歴史）（発行者　教出）

調査項目	着眼点	調査結果	特記事項
1	（1）	①小学校第６学年の歴史学習との接続、関連が図られ、特に歴史上の人物などを焦点化して取り上げ、作業活動を通して時代の区分と移り変わりを概観できるように配慮されている。	○
		②小学校での登場人物には、マークが入れられたり、年表は原始・古代から現代までを通して時代スケールで構成され、時代の移り変わりや現在からの時間的な距離がつかみやすい工夫がある。	
	（2）	①学習したことをもとに、「確認」では「キーワードの例」を活用した基礎的確認事項の確認・整理に、「表現」では歴史的事象についての説明や話し合いなどの表現活動に、段階的に取り組めるように工夫され主体的で深い学びにつながるよう促している。	◎
		②課題を解決するため、「読み解こう」や「Q」の問いが設定され、時代の特色が考察できるよう工夫されている。こうした具体的な手掛かりや問いかけをもとに、「確認」「表現」の問いの解決に取り組もうとする探究意欲を深めている。	
	（3）	①見開き１単位時間で構成され、学習課題が設定されている。「時代の特色を考えよう」では、考察・表現する活動で、多面的・多角的な対話活動が構成され、主体的な学びを促している。	◎
		②「学習を始めよう」では、その時代を象徴する資料とそれに関わる「Q」などの問いを示し、これから学習する時代を概観し、１単位時間の課題解決をすることで、単元の課題に見通しをもって学習を進められるように構成されているため、分かりやすい。	
	（4）	①「歴史を探ろう」では、探究していきたい課題を取り上げ、単元で習得した知識をもとに、その時代の人々のものの見方や考え方など、発展的な内容を学ぶことができるよう構成され、主体的な学びを促している。	○
		②日本の領土問題に対する記述が充実している。特に「第７章　現代の日本と世界」では、今後隣国と日本がどのように関わっていくとよいかが掲載され、歴史的背景からも、残された課題について主体的に学ぼうとする姿勢を促す構成になっている。	
2	（1）	①今日的課題である人権について、各章で取り上げられている。働く女性や子ども、琉球とアイヌの文化などについて掲載され、歴史の流れの中でどのようにして人権が守られるようになってきたのかを学べるように構成され、関心を深めている。	○
	（2）	①興味や関心を広げていく「歴史の窓」や、歴史を掘り下げていくテーマ学習のページを設け、個人やグループで学びを深めていく構成となっている。「歴史の技」コーナーを設け、学び方を身に付けられるように配慮されていることが、大変分かりやすい。	◎
		②歴史の見方・考え方を学習に役立てることができるように、「歴史の技」では図の表し方、写真・新聞・地図・系図・絵巻物・絵・風刺画・狂歌の読み取りを紹介し、歴史学習の基本的な学びが習得できるように構成されていることが、大変分かりやすい。	
	（3）	①「学習のまとめと表現」が位置付けられ、特に「時代の移り変わりを確かめよう」では、習得した知識を活用して年表を作成するように構成されている。また、基礎的・基本的な知識を習得することができる構成となり、家庭学習で有効に活用できる。	○
		②「学習のまとめと表現」が各章末に位置付けられ、見開き２ページで構成されていることも、その時代を大観し、生徒が家庭学習で取り組めるよう工夫されている。	
3	（1）	①国宝や重要文化財に指定されている文化財や、世界遺産に登録されている遺跡や景観などについては、分かりやすく「マーク」をつけて紹介し、日本の伝統的な文化について理解が深めることができるように取り上げられているところが、分かりやすい。	○
4	（1）	①岐阜県の偉人である杉原千畝の偉業を見開き２ページで掲載し、ふるさとへの愛着を持ち続けることができるように構成され、大変分かりやすい。教科書とウェブサイトをリンクさせ「まなびリンク」を設け、興味関心を促し、探究意欲を深めている。	◎
5	（1）	①ＡＢ判で「１時間＝見開き２ページ」で構成され、分かりやすい。図版には、色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウトなどの工夫により、全ての生徒に学びやすい配慮がされ、分かりやすい。	○
	（2）	①難解な用語や補足説明の必要な箇所には、測注や「◆解説」による説明を設け、生徒の理解への一助となるように配慮されている。本文中には、資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページも挿入されているので、分かりやすい。	

調査研究資料②　教科　社会　（種目　歴史）（発行者　帝国）

調査項目	着眼点	調査結果	特記事項
1	（1）	①各時代を概観する特設「タイムトラベル」が設けられている。学習する時代の生活の様子を大きく見ることができるイラストが描かれ、小学校で学習した人物や既習事項の橋渡しに配慮しているため、生徒の関心を深めることができる。	○
		②各本文ページ右側に、年表が設けられ、巻頭の「日本の歴史」と巻末の「世界の歴史」とも対応するような構成となっており、分かりやすい。	
	（2）	①各本文ページ末尾に「確認しよう」「説明しよう」の課題が設けてある。「確認しよう」では基礎知識を、「説明しよう」では学習内容の説明を求め、言語活動に備えた学習の振り返りの場面を設けており、基礎的・基本的な知識を習得させ、深い学びを促している。	◎
		②学習の定着をはかるため、「学習課題」、「本文」、「確認しよう・説明しよう」という展開で統一したページ構成で、つながりが大変分かりやすい。	
	（3）	①「多面的・多角的に考えてみよう」という特設が設けられている。社会に見られた課題に対して、当時の人々の様々な立場や選択を通して考察できるようになっており、生徒自身の主体的・対話的な深い学びを促している。	◎
		②章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に「章の問い」「節の問い」「学習課題」が設けてある。生徒が学習の見通しをもつことができ、課題解決的な学習ができるよう、大変分かりやすく工夫された構成になっている。	
	（4）	①各章の最後に「章の学習を振り返ろう　歴史的な見方・考え方を働かせて時代の特色を説明しよう」という課題が設けられている。時代の特色をまとめる課題を通して、生徒の言語活動を充実させる構成となっている。	○
		②「歴史を探ろう」では、領土問題などについてまとめられており、これまでの学習内容を振り返って疑問を投げかけることで生徒の社会参画を促す構成となっている。	
2	（1）	①コラム「未来に向けて」では、人権、平和の尊重や自然環境の保全といった今日的課題について掲載されている。また、コラムを通して世界の尊さを実感し、倫理観が養えるような配慮がしてある。	○
	（2）	①第１部の末尾に「歴史的な見方・考え方を働かせよう」が設けてあり、歴史的な見方・考え方について概観できる。また、本文ページ中の各写真や統計類において「資料活用」の問いが設けてある。習得した技能を生徒が磨いていける構成のため、大変分かりやすい。	◎
		②巻頭に「この教科書の学習のしかた」を設け、学習の見通しや振り返り活動の基本的な流れ、特設やコラムの位置付けを丁寧に紹介する大変分かりやすい構成となっており、生徒の自発的な学習を促している。	
	（3）	①各章の最後に「章の学習を振り返ろう　学んだ事を確かめよう」という課題が設けられている。各時代の基本的な知識を問う課題となっており、生徒の基礎的・基本的な知識の定着を目的とした内容の構成となっており、家庭での学びを促している。	○
		②各章の最後に基礎的・基本的知識を問う課題が設けられていることで、生徒は学習した時代について時系列に概観することができ、これまで学んできた学習内容を振り返るための位置付けとして分かりやすい。	
3	（1）	①「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、博物館や郷土資料館といった施設のほか地域社会の方々の協力を得て調査を進める内容が設けられており、施設の活用やそれを利用した学びについて関心を深めている。	○
4	（1）	①二次元コードを利用し、掲載資料の一部をパソコンなどで閲覧できる。イラストを拡大して見たり、巻末年表が一覧で見たりできる。また、コラム「未来に向けて」では、杉原千畝について取り上げ、生徒がふるさと岐阜のよさを再認識できるような内容となっている。	○
5	（1）	①グラフ・地図資料において、色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使うように配慮された工夫が見られる。	○
	（2）	①各本文ページには、本文の内容を補助する注釈が設けられている。生徒が理解しづらい用語についての解説が構成されており、分かりやすい。	

調査研究資料②　教科　社会　（種目　歴史）（発行者　山川）

調査項目	着眼点	調査結果	特記事項
1	（1）	①小学校での歴史の学習を踏まえ、中学校での学習ではそれをベースに、さらに幅広く、深く歴史の知識を身に付けられるよう工夫されている。	○
		②各単元の始めに、年表を示し、主な出来事の流れを示している。また、世界地図で、特定の世紀ごとの世界の様子を示し、各時代の世界の状況を分かりやすく示している。	
	（2）	①１単位時間の学習の最後に「ステップアップ」が設定されており、基礎的・基本的な知識・技能を定着できるような構成になっている。	・
		②欄外に用語解説があり、知識・技能を身に付けられる構成になっている。	
	（3）	①見開き１単位時間の冒頭に、そのテーマを理解するための課題があり、本文を読む視点を示している。	○
		②本時の課題や各章の最後に発展的な課題が設定されていて、生徒の主体的な学びを促している。	
	（4）	①「歴史を考えよう」や「歴史へのアプローチ」では、取り上げた美術品や史跡などから、課題を話し合い、考察しながら歴史を学ぶような工夫がなされている。	○
		②日本の領土をめぐる問題を詳しく取り上げ、対立の現状やその歴史的経緯、平和的解決の在り方について、認識が深まるように構成されていて分かりやすい。	
2	（1）	①女性参政権の実現の図版や「人物コラム」などの特設ページにより、男女平等を重んずる態度を養う配慮をし、関心を深めている。また、歴史上の人物について詳しく説明している。	○
	（2）	①「写真やグラフ、コラムなどに関連して、考えてほしい課題」に取り組むことにより、「歴史的な見方・考え方」を身に付けることができるよう構成されている。	・
		②本文の欄外に、「歴史的な見方・考え方」に関わる物事の差異や共通点を考える発問が示されている。	
	（3）	①各章末の「まとめ」には、章全体の時期・推移・因果関係・差異などに着目させる発問があり、各時代の流れ・特徴を振り返ることができる。	・
		②「まとめ」が各章末に必ず位置付いており、家庭で取り組むことができる。	
3	（1）	①第一章「歴史との対話」では、「身近な地域を調べよう」で、生徒が自ら気付いたり、疑問に思ったりしていることを調べる方法が紹介され、主体的な学びを促している。	○
4	（1）	①QRコードから、博物館・資料館のホームページサイトや動画を見たり、音声を聞いたりすることができるようになっている。	・
5	（1）	①図版が大きく掲載され、地図・グラフはカラーユニバーサルデザインにも配慮し、読み取りやすい表現方法で構成されている。	・
	（2）	①人名索引と事項索引に分かれており、用語解説が各ページに構成されている。	

調査研究資料②　教科　社会　（種目　歴史）（発行者　日文）

調査項目	着眼点	調査結果	特記事項
1	（1）	①学習内容に応じて小学校で学んだ人物や地理・公民とのつながりを示したりするなど、小学校や分野間の連携に配慮されている。	○
		②本文ページに、「小年表」や「時代・世紀の表示」が位置付けられており、学習している時代や出来事のつながりや順番を捉えやすくなっている。	
	（2）	①「基本用語」で歴史の理解に役立つ用語が解説されており、分かりやすい。また学習課題に対応し、見開き学習の理解を確かにする問いが「確認」で位置付けられており、基礎的・基本的な知識・技能の定着に有効である。	◎
		②本文は「導入資料」、「学習課題」、「見方・考え方」、「深めよう」、「確認」を基本構造としており、分かりやすい。また「資料活用」のコーナーに取り組むことにより、基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着が図られている。	
	（3）	①１授業時間が見開き２ページとなるように構成され、左ページには学習課題や課題解決の手がかりとなる主な「見方・考え方」が、右ページには「確認」や「深めよう」による問いが示されており、生徒が主体的に学ぶことができるように工夫されている。	○
		②本文ページの「深めよう」による問いや「チャレンジ歴史」、「アクティビティ」の特設ページにより、生徒が様々な課題に対して、主体的・対話的に学び、解決していくことができるように工夫されている。	
	（4）	①各単元の章末の「アクティビティ」では、習得した知識を関連させて時代の特色を捉えられるように構成されており、日本の歴史の大きな流れをつかむことができるようになっている。	○
		②「歴史との対話を未来に活かす」や「歴史を掘り下げる」などの特設ページにより、よりよい未来の創造に向けて考えられるように工夫されている。「歴史を掘り下げる」では、近隣諸国との領土問題を取り上げ、現代的な課題に対する関心を深めている。	
2	（1）	①人権、環境、平和、防災・減災などの課題を「先人に学ぶ」や「女性史コラム」、「歴史との対話を未来に活かす」で取り上げ、生徒の主体的な学びを促している。	○
	（2）	①「歴史的な見方・考え方」を学び、それを働かせて各時代の特色を捉えていくように構成されている。また「チャレンジ歴史」では、生徒が選択・判断する学習を位置付け、主体的・対話的な学びについて興味関心を高め、探究意欲を深めている。	◎
		②第１編で、小学校の歴史を振り返りながら「歴史的な見方・考え方」を学んだり、本文ページに学習課題の解決に向けた手掛かりとなる主な「見方・考え方」を示したりするなど、生徒の主体的で深い学びを促している。	
	（3）	①見開きの学習ごとに課題への理解を確かにする問いがある。また、単元のまとめページに「学習の整理と活用」が位置付けられている。	・
		②単元のまとめページの「学習の整理と活用」では、基礎的・基本的な知識・技能を確認するために、年表や地図が用いられている。	
3	（1）	①「でかけよう！地域調べ」や「地域に学ぶ」などの特設ページ・コラムを位置付け、博物館の活用や身近な地域の歴史に対して興味・関心を高められるようにしている。	○
4	（1）	①第二次世界大戦においては、杉原千畝の功績について取り上げている。またデジタル教材による学習の支援が図られ、活用可能なページにはデジタルマークが付けられており、家庭でもＩＣＴを利用して学習に励むことができる。	○
5	（1）	①ユニバーサルデザインに配慮したフォントやふりがなが使われ、グラフや地図、写真等の図版は生徒の興味関心をひく配色や大きさとなっている。	○
	（2）	①本文ページに、注釈が設けられたり、資料番号が付けられたりしており、分かりやすいように構成されている。	

調査研究資料②　教科　社会　（種目　歴史）（発行者　育鵬社）

調査項目	着眼点	調査結果	特記事項
1	（1）	①序章では、小学校で学習した人物の似顔絵を活用した学習活動を位置付けており、生徒の興味・関心を高めている。	○
		②時代の特色を捉えることを目指し、章ごとに「導入ページ」、「本文ページ」、「学習のまとめ」という順に配列されていて、分かりやすい。	
	（2）	①見開きのページごとの「鉛筆マーク」や、各章の「学習のまとめ」に取り組むことによって、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている。	○
		②章末の「学習のまとめ」では、重要語句をまとめたり、地図で位置を確認したりすることによって、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができる。	
	（3）	①１授業時間を見開き２ページとし、左ページには課題が示され、右ページには学びを深めたり、理解を確かにしたり問いを設けられており、何を学ぶのかが分かりやすくなっている。	○
		②各章に時代を代表する大きな出来事について、様々な資料をもとに多面的・多角的に考察し、意見を議論する「歴史のターニングポイント」のページを位置付け、対話的な学びを促している。	
	（4）	①「人物クローズアップ」で国家や人生の岐路に道を切り開いた人物などを紹介したり、「歴史のターニングポイント」や「歴史学習のまとめ」で歴史に関わる課題と向き合うための設問を設けたりしている。	・
		②「歴史ズームイン」にて、近隣諸国との領土問題や日本の安全に関する問題などの現状と今後について解説している。	
2	（1）	①図版や資料を効果的に配置するとともに、「歴史ビュー」や「歴史ズームイン」などの多彩なコラムにより、今日的な課題に対する生徒の主体的な学びを促している。	○
	（2）	①序章の「地域の歴史を調べてみよう」では、見方・考え方が紹介されている。また本文ページでは学習課題について解決し、まとめていくように構成されている。	○
		②各章の冒頭に「歴史絵巻」を設けて時代の流れを大観できるようにしたり、「〇〇の世界へようこそ」で時代を象徴する歴史的事象を取り上げたりして、生徒の主体的な学びを促している。	
	（3）	①女性たちの活躍に注目した「なでしこ日本史」を読んだり、歴史博物館の学芸員になったつもりで展示方法を考える「私の歴史博物館をデザインしてみよう」に取り組んだりすることで、学習した内容を発展させた家庭学習を行うことができる。	○
		②各章末に「なでしこ日本史」や「私の歴史博物館をデザインしてみよう」が位置付けられており、時代ごとの違いを捉えていくことができる。	
3	（1）	①「地域の歴史を調べてみよう」によって、地域の調査や博物館の利用方法などが示され、生徒の身近な地域の歴史について興味関心を高めている。	○
4	（1）	①第二次世界大戦においては、杉原千畝の功績が取り上げられている。	・
5	（1）	①図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色が使用され、ふりがなはゴシック体で小さな文字が読みやすいように工夫されている。	○
	（2）	①本文には注釈や関連ページが示されたり、マークが付けられたりしており、分かりやすい。	

調査研究資料②　教科　社会　（種目　歴史）（発行者　自由社）

調査項目	着眼点	調査結果	特記事項
1	（1）	①序章では、小学校で学習した主な４２人の歴史人物を挙げ、小学校との接続を図りながら、人物を通して時代を捉える学習活動が位置付けられている。	○
		②各章末に年表が掲載されており、時代の流れや出来事が整理しやすくなっている。また、次ページには、これから学習する章の年表が位置付き、時代の流れを大観することができる。	
	（2）	①見開きのページごとの「チャレンジ」によって、一単位時間で習得した知識をまとめることができるようになっている。	○
		②子どものキャラクターを適宜配置し、そのセリフによって学習のポイントを示唆しており、思考を促している。	
	（3）	①見開きのページごとの学習課題により、学ぶことができるようになっている。	○
		②時代の特色を捉えることができるようにするために、章末に「ひとこと」作文や意見交換会の活動があり、思考力・判断力・表現力等の育成を図ろうとしている。	
	（4）	①章末に「時代の特徴を考えるページ」や「対話のページ」があり、事象の共通点を考えさせたり、時代の流れをつかませたりしながら、習得した知識を活用して、主体的な学びを促そうとしている。	○
		②章末の「調べ学習のページ」を活用することで、単元で学んだことをより発展的に学ぶことができるようになっている。	
2	（1）	①図版や資料を効果的に配置するとともに、「外の目から見た日本」や「もっと知りたい」、「人物クローズアップ」などの多彩なコラムにより、生徒の学習意欲を喚起しようとしている。	○
	（2）	①序章の「歴史のとらえ方」では、年代の表し方や時代区分、調査の仕方などについて紹介されている。	○
		②各章の冒頭に「第〇章　日本の〇〇＜予告編＞」を設けて時代の流れを大観できるようにしている。	
	（3）	①章末の「復習問題」では、各時代の基礎的・基本的な知識・技能が問われ、解答を見て自分で答え合わせもできるようになっており、家庭学習をする上で分かりやすくなっている。	○
		②生徒は学習した時代について時系列に概観することができる構成となっており、これまで学んできた学習内容を振り返ることができるので、分かりやすくなっている。	
3	（1）	①「調べ学習のページ」では、博物館や資料館に行って分かったことがまとめられており、施設の活用や実際に見て学ぶ大切さについて関心を高めることができる。	○
4	（1）	①「第二次世界大戦の始まり」では、杉原千畝の功績について取り上げられている。	・
5	（1）	①色覚特性にも配慮した色を使用し、字体も見出しにゴシック体を使うなど、配慮をした工夫がみられる。	○
	（2）	①本文に記載されている用語には番号を割り振って、さらに詳しい解説が掲載されていて、分かりやすくなっている。巻末の索引のページでは、人名さくいんと事項さくいんを分けた構成となっている。	